

会長 「旭水会」（教育文化学部同窓会）創立130周年記念に出席して

作者： Administrator

2018年 10月 31日(水曜日) 18:41

2018・10・31

「旭水会」（教育文化学部同窓会）創立130周年記念に出席して

北光会会長 千葉 到（G-S35）

平成30年10月27日（土）、秋田ビューホテルで開催されました。記念式典、記念講演（小笠原直樹 秋田魁新報社社長）、記念祝賀会と参加しました。記念式典に先立ち卒業生によるピアノ、フルート、ハーブの演奏があり、続いて旭水会会長千葉昭様の様式辞、11名の顕彰者表彰、来賓として山本文雄学長、志立正知副学長、真壁綾子県教育長代理、顕彰者・来賓紹介があり、総勢170名の参加者でした。

山本学長は学部設立の経緯を述べられ、日本の教育界で活躍しているその努力と行動力は延々と受け継がれていると語り、さらに社会の発展に寄与すべく述べられました。130年の伝統は素晴らしいと感じました。

そもそも学校の発足は明治6年（1873）の秋田伝習学校まで遡る。明治21年（1888）秋田県尋常師範学校第1期生が「秋穂会」（旭水会の前身）を結成し、昭和32年に「旭水会」と名称決定。今日に至っています。今日までの卒業生はおよそ6,000人です。秋田県が全国中学学力テストで連続1位、その礎を担っている自信と誇りを感じました。最近の就職状況では公務員志望が多くなってきているとの事です。また金足農業高校の今季甲子園での活躍は、県人の粘り強さは大きな話題になっていました。

130年を記念し学部旗（シンボルマーク）を変更し、大輪の旭日（国旗の赤い太陽）を背にそびえ立つ太平の峰に脚を持つ旭川、太平洋を模し、本会・母校の限らない発展を願ったものです（記念誌抜粋）。

記念講演では平成の国内の歴史を顧み、最後にAI（人工知能）は明るい未来になるか（人間は精神の世界）、多発する災害の対応、複雑社会のなかで4学部は横の繋がりを重視し、住みよい社会作り、そして世界に貢献して欲しいとの講話でした。

祝賀会は冒頭、大学混成合唱団A・choir（エース・クワイア）による学生歌「白雪かおる」の合唱、佐藤修司教育文化学部長の挨拶、祝賀、「秋田県民歌」の合唱、万歳三唱で閉会でした。

立派な長い伝統のもと、多くの方と懇談し教育者の姿、県民性を知ることができた同窓会でした。

以上